

社会福祉法人 京都市伏見区社会福祉協議会

令和2年度事業報告

令和 2 年度 事業報告

I. 総 括

新型コロナウイルス感染症の急増に伴う 2 度の緊急事態宣言の発出、「新しい生活様式」の導入等、これまでの暮らしが一変し、今もその収束の見通しがたたない状況にあります。

地域福祉活動においても、感染防止の観点から従来の取り組みの休止や縮小が相次いだことで、家族や地域におけるつながりの脆弱化や、社会的孤立の進行が危惧されています。

さらに、経済状況の悪化により、生活困窮や貧困の問題が増加し、生活福祉資金特例貸付や住居確保給付金の申請が相次ぎ、各区役所の生活相談や生活保護相談件数も高止まりする等、生活困窮およびそれに付随する諸々の課題が顕在化しています。

そして、自然災害が多発している近年において、感染のリスクを高めずに、必要な支援を災害時の被災者へいかに届けるかを想定した災害に備える地域づくりが平常時から必要とされています。

このような状況の中、京都市伏見区社会福祉協議会では、幸せを分かち合おう！共に生きる「福祉のまち伏見」を基本理念とした「第 4 期 伏見区地域福祉活動計画」を策定することができました。

この計画の中では、各学区社協が設定した「学区重点プラン」の推進により、地域の福祉力を高め、住み続けたいまちづくりを進めることや、引きこもり・生活困窮等の困難な課題を抱えた方へ、福祉専門職や関係機関・団体が連携して支援を行っていくこと、そして地域活動で明らかになった福祉課題を、関係者が参画するネットワークで共有・解決に向けた取り組みを進めることを策定しており、共に生きる「福祉のまち伏見」の実現に向けて、それぞれの活動主体が今後 5 年間、どのような取り組みを行っていくかを示すことができました。

一人ひとりが地域のなかで尊重される福祉のまちづくりの実現には、学区社会福祉協議会、学区民生児童委員協議会をはじめとする地域各種団体や行政機関、関係機関・団体、福祉施設等との多様で緊密な連携・協働が不可欠です。地域福祉を取り巻く諸課題の解決に向けて、伏見区地域福祉推進委員会のプラットフォーム機能を活用しながら、共生のまちづくりの実現に向けた先進事例の共有・発信し、また委員会としての取り組みを促進することで、区社協としての役割を積極的に果たしてまいります。

II. 重点事業

1. 学区重点目標を踏まえた住民主体の地域福祉活動の強化

伏見区内においても新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、社会的な接触が断たれていく中、各学区の重点目標（重点プラン）に基づき、地域では感染症対策を十分に行った上で「健康すこやか学級」や「地域の絆づくり事業」が実施されました。こういった状況下であるからこそ、繋がりづくりや見守り活動が必要とされることを再確認し、学区地域の皆さまと情報・意見交換を行いながら、地域福祉活動の強化に努めました。

2. 第4期伏見区地域福祉活動計画の推進

令和2年度伏見区地域福祉推進シンポジウムでは、第4期伏見区地域福祉活動計画の3つの重点目標に基づいた地域団体からの事例発表を通じて、計画の期間中に私たちが目指す姿を共有することが出来ました。今後も、計画の進捗を把握・管理しながら、伏見区内の地域福祉活動を着実に推進していく必要があります。

3. 伏見区地域福祉推進委員会を核とした取り組みの推進

令和2年度内に2回の地域福祉推進委員会を開催し、地域福祉活動団体が向き合っているコロナ禍での実情について情報交換を行いました。残念ながら具体的な連携事業に取り組む事は出来ませんでした。事態が収束に向かった際には速やかに動き出すことができるよう、準備を進めました。

4. 支え合い活動、寄り添い支援の更なる推進と充実

人が集まっての会議や打ち合わせが難しい中、「地域支え合い活動創出事業」では、ZoomなどのWeb会議ツールを活用し、支え合い活動の構築に取り組みました。また、「地域あんしん支援員設置事業」では、対面での接触を極力控えながらも、支援対象者に寄り添い、信頼して相談していただけるよう、様々な工夫を凝らして関係づくりに取り組みました。

5. 多様な住民に配慮された災害対策の推進

地域住民を襲う新たな災害である新型コロナウイルス感染症に立ち向かう為、アルコール消毒液や不織布マスク等、感染症対策に必要な資材等を速やかに手配し、各学区社会福祉協議会を通じて配布しました。また、コロナ禍の中での活動に役立つ情報を適宜発信することで、安心・安全に活動を継続できるよう支援を行いました。

Ⅲ. 事業概要

1. 区社協会務運営事業

1) 会務運営事業

〔 成 果 〕

令和 2 年の冒頭から世界的な流行を見せた新型コロナウイルス感染症は、令和 2 年度中も猛威を振るい、地域社会は様々な困難に向き合うことになりました。

そういった中、社会福祉協議会に求められる役割に対し、組織の特性や機能を十分に発揮して対応できるよう、正副会長会議を中心に、理事会や評議員会、委員会等の諸会議においてしっかりと課題を共有し、役職員が一体となって取り組みました。

〔 課 題 〕

新型コロナウイルス感染症の影響は長引き、令和 3 年度以降も継続することが予想される為、地域社会が向き合う様々な困難に対して情報収集を進めながら、コロナ禍の中でも安定して会務運営が継続できるよう対策をとっていくことが必要です。

(1) 正副会長会議の開催

開催日	内 容
令和2年5月15日	(1) 令和2年度 第1回理事会について (2) 令和2年度 第2回理事会について (3) 令和2年度 第1回評議員会・評議員選任解任委員会等について
令和2年10月6日	(1) 第69回 伏見区社会福祉大会について (2) 区社協会長表彰の審査について (3) 市長表彰候補者の推薦について
令和3年3月2日	(1) 学区社会福祉協議会助成事業の見直しについて (2) 令和2年度 一般会計(第1次)補正予算(案)について (3) 令和3年度 事業計画(案)並びに予算(案)について

(2) 理事会の開催

開催日	内 容
令和2年6月8日 【書面審議】	(1) 顧問及び参事の委嘱について (2) 理事候補の補充選任について (3) 評議員候補の補充選任について (4) 評議員選任・解任委員会運営細則の改正について (5) 令和元(平成31)年度 事業報告並びに一般会計収支決算の承認について (6) 評議員会の開催について

令和2年6月24日	(1) 副会長の補充選任について
令和3年3月4日 【書面審議】	(1) 評議員会の開催について
令和3年3月25日	(1) 令和2年度（第1次）補正予算の承認について (2) 令和3年度 事業計画並びに予算の承認について (3) 新規会員加入の承認について (4) 会長の職務執行状況の報告について

(3) 評議員会の開催

開催日	内 容
令和2年6月24日	(1) 理事の補充選任について (2) 令和元(平成31)年度 事業報告並びに一般会計収支決算の承認について
令和3年3月25日	(1) 令和2年度（第1次）補正予算の承認について (2) 令和3年度 事業計画並びに予算の承認について (3) 新規会員加入の承認について (4) 会長の職務執行状況の報告について

(4) 監事会の開催

開催日	内 容
会計監査 令和2年5月25日	(1) 令和元(平成31)年度 一般会計決算の監査について
本監査 令和2年5月27日 【持ち回り】	(1) 令和元(平成31)年度 事業ならびに一般会計決算の監査について
中間会計監査 令和3年3月4日	(1) 令和2年度 一般会計の中間監査について

(5) 京都市社会福祉法人等指導監査の実施

開催日	内 容
開催なし	-

(6) 委員会の開催

①生活福祉資金調査委員会

開催日	内 容
令和3年1月19日	(1) 住宅改修費用の申請について

(7) 役員研修の実施

①地域福祉推進セミナー（市・区社協役員研修）の共催

開催日	内 容
開催なし	-

(8) 賛助会員募集活動

- ①募集期間 令和2年4月 ～ 令和3年3月末
②実績額 14,997,850円

2) 企画広報事業

〔 成 果 〕

第69回伏見社会福祉大会を開催し、福祉活動の功績顕著な方々を表彰するとともに、社会福祉協議会活動への理解の促進を図るため、京都市社会福祉協議会との共同広報紙を発行いたしました。

また、「第4期 伏見区地域福祉活動計画」が完成し、共に生きる「福祉のまち伏見」の実現に向けて、区民の皆様や福祉関係者との連携と協働のもと、取り組みの内容を発信することができました。

〔 課 題 〕

「第4期 伏見区地域福祉活動計画」の3つの重点目標について、様々な機会を通じて情報発信を行い、広く区民の皆様や福祉に携わる関係者等に周知することで、皆で取り組む計画として推進していくことが必要です。

(1) 第69回 伏見区社会福祉大会の開催

開催日	内 容
令和2年11月13日	会 場 京都ホテルオークラ 4階 暁雲の間 参加者 式典 82名 シンポジウム 90名 第I部 式典及び表彰状贈呈式 (1) 表彰状贈呈式 ① 社会福祉協議会優良活動表彰 ② 社会福祉事業功労者表彰 ③ ボランティア・市民活動表彰 ④ 社会福祉活動協力者（感謝状） (2) 大会宣言

	<p>第Ⅱ部 令和2年度 伏見区地域福祉推進シンポジウム</p> <p>テーマ 幸せを分かち合おう！ 共に生きる「福祉のまち伏見」の実現に向けて</p> <p>事例発表 ・居場所づくり活動を活用した担い手育成 茶房 やどり木（春日野学区） ・見守り活動を組織化し情報共有ならびに支援 横大路地域福祉推進委員会（横大路学区） ・商店街内のコミュニティスペースを活用した連携支援 暮らしの交流サロン ふかふか家（深草学区）</p> <p>総括・まとめ 杉本 星子 教授 （京都文教大学 総合社会学部 総合社会学科）</p>
--	---

(2) 伏見区社協会長表彰審査会の開催

開催日	内 容
令和2年10月6日	(1) 第69回 伏見区社会福祉大会について (2) 令和2年度 区社協会長表彰審査について

(3) 区社協会長表彰並びに感謝状の贈呈

地域福祉協議会優良活動表彰（学区社協役員等）	13名
〃（民生委員・児童委員）	9名
〃（老人福祉員）	6名
〃（社会福祉施設役職員）	24名
ボランティア・市民活動表彰（個人）	26名
〃（グループ）	1団体
社会福祉活動協力者感謝状（個人）	6名
〃（グループ）	8団体

(4) 市社協会長表彰等への推薦

社会福祉事業特別功労者表彰（社協役員）	9名
〃（民生委員・児童委員）	4名
〃（老人福祉員）	25名
〃（社会福祉施設役職員）	なし
〃（社会福祉団体役職員）	なし
優良民生児童委員協議会	なし
社会福祉事業奉仕活動表彰（ボランティア）	1団体
社会福祉活動協助者（グループ）	2団体

(5) 広報紙「伏見区社協だより」の発行

発行月	内 容
令和2年4月	内 容 賛助会員募集特別号「賛助会員への加入のお願い」 部 数 約70,000部

(6) 共同広報紙「京都市の社会福祉協議会」の発行

発行月	内 容
令和2年10月	内 容 誰もが安心して暮らし、つながりのある地域づくりを進めます 掲載学区 深草学区社協 納所学区社協 日野学区社協 部 数 約70,000部

(7) インターネット・ホームページ

本会が行う活動について紹介し、福祉に関する情報を発信しました。

3) 基金運営事業

〔 成 果 〕

なし

〔 課 題 〕

混迷する社会情勢の中、今後も基金果実が増加する見通しは立たない為、基金原資の活用については、十分に検討を行う必要があります。

(1) 基金の造成

- ①老人福祉基金 22,560,000円
- ②児童福祉基金 15,785,306円

(2) 基金果実の還元

- ①老人福祉基金 未実施
- ②児童福祉基金 未実施

2. セーフティネット事業

1) 日常生活自立支援事業

〔 成 果 〕

年度末の統計では契約者数 110 名、職員代行ケース数 14 名(12.7%)となりました。

認知症や障害の症状が進行し、当事業の契約継続が困難になったケースについて、生活福祉課や京都市長寿すこやかセンター、その他の関係機関等とも協議し、スムーズに成年後見制度への移行ができるよう連携し対応しました。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の中、市社協とも連携し感染症対策としてガイドラインの作成や注意喚起の通知文送付、備品の配布等を行い、感染症対策に取り組みながら支援を継続しました。

〔 課 題 〕

引き続き生活支援員不足が課題となっていることから、その確保に努めるとともに、多くの利用希望に応えられるよう、待機期間の短縮化と、契約者数の増加に努めます。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大の情報等も確認し、利用者や生活支援員、関係機関とも情報共有を密にしながら支援を進めていきたいと考えています。

(1) 福祉サービスの利用援助と日常的金銭管理サービス等の実施

①新規契約数および解約数

	認知症	知的障害	精神障害	その他	合計
新規契約数	16	3	5	0	24
解約数	16	1	3	1	21

②契約状況

		相 談 区 分				合 計
		認知症	知的障害	精神障害	その他	
伏見本所・深草	年度当初	31	23	20	6	80
	年度末	28	24	20	5	77
醍 醐	年度当初	14	7	3	3	27
	年度末	17	8	5	3	33
合 計	年度当初	45	30	23	9	107
	年度末	45	32	25	8	110

※その他：認知症の診断や障害者手帳はないものの、判断力に不安がある方

(2) 生活支援員の確保・養成

①登録・活動状況

		伏見本所・ 深草	醍醐	合計
登録者数	年度当初	68	23	91
	年度末	65	17	82
活動者数	年度当初	38	14	52
	年度末	35	9	44

(3) 日常生活自立支援事業の制度説明

開催日	内容
令和3年1月8日（金） （伏見区役所）	(1) 派遣講師として事業説明 (2) 内容：「ふしみ障害・高齢ネットへの研修」 講師：日常生活自立支援事業・生活福祉資金制度について 京都市伏見区社会福祉協議会 大槻真也 (3) 対象：ふしみ障害・高齢ネット参加団体、 (4) 質疑応答 ※新型コロナウイルス感染症の為延期

2) 生活福祉資金貸付事業

〔成果〕

依然として教育支援資金の相談や申請件数の占める割合が高く、全体の約7割を超えています。子どもや若者の生活困窮が注目され、他の奨学金制度が刻々と変化をする中で、教育支援資金の運用にも変更が重ねられ、相談員は常に従来とは異なる柔軟な対応を求められています。教育支援資金は進学を支えるセーフティネットの役割として、非常に有効な制度の一つとなっています。

一般福祉費として、生活保護世帯への生活必需品(エアコン・冷蔵庫・洗濯機等)購入費用の申請件数も増加をしており、生活福祉課とも連携し対応しています。

また、新型コロナウイルス感染症の蔓延や営業自粛に伴い、世帯収入が減少した方を対象とした緊急小口資金の特例貸付及び総合支援資金の特例貸付が令和2年3月25日から始まりました。そして、5月からは新たに貸付・総合窓口を京都市社協に設置し京都市内の相談を受け付けました。

償還については引き続き初期滞納者への対応に力を入れ、長中期の債権については、必要に応じて債権者である京都府社会福祉協議会と連携し対応を行っております。

〔 課 題 〕

福祉的な相談支援として、貸付や償還相談の対応の中で、利用者の自立につながるよう、民生委員や京都府社会福祉協議会、その他の関係機関とさらに連携を強め、協働して対応していくことが必要です。事業について理解を進めるために、適切な事業周知を行うことが求められます。

(1) 生活福祉資金貸付事業説明会

開催日	内 容
令和2年11月5日	(1) 栗陵中学校 進路説明会
令和3年1月8日	(2) ふしみ障害・高齢ネット研修 生活福祉資金貸付制度事業説明 ※コロナのため延期

(2) 生活福祉資金 相談・貸付の状況

資金種別		面 談	申 請	決 定	貸 付
		件数	件数	件数	決定金額
総合支援資金		20	1	3	1,590,000
臨時特例つなぎ資金		—	—	—	—
福祉 資金	福祉費	114	53	47	19,806,000
	緊急小口資金	21	7	8	735,000
	生活復興資金	—	—	—	—
教 育 支 援	教育支援費	309	176	163	61,611,000
	就学支度費	311	183	164	60,943,000
不動産担保型生活資金		—	—	—	—
その他		4	—	—	—
合 計		779	420	385	144,685,000

3) 住居確保給付金事業

〔 成 果 〕

今までの離職に伴う世帯収入の減少に加え、新型コロナウイルス感染症の蔓延や営業自粛に伴い、世帯収入が減少した方に対しても住居確保給付金事業申請受付を開始し、令和2年5月からは京都市社協に受付相談窓口を設置し京都市内の相談を受け付けています。

相談支援の中で、行政をはじめとして、生活困窮者自立支援制度の自立支援相談員や、ハローワーク等の他機関との連携を行うことにより、安定した生活・就職活動を行う為に必要な制度としての役割を担っています。

〔 課 題 〕

制度の適切な周知と、他機関とのネットワークをより強固なものとし、相談支援を行っていく必要があります。

(1) 住居支援給付 面談・申請の状況

	来所者（延べ）	新規申請者
	件数	件数
伏見（本所・深草）	2	0
醍醐	1	0
合 計	3	0

4) 地域あんしん支援員設置事業

〔 成 果 〕

年度末の統計では、支援中が 16 ケース、予備調査中 1 ケース、経過観察 2 ケースの計 19 ケースとなっています。また、課題が解決し見守りの体制が構築されると終結となり支援員による支援を終了としています。昨年度の終結ケースは深草 1 ケース、醍醐 1 ケースの 2 ケースのみとなっています。その原因として、新型コロナウイルスの影響により訪問を拒否されるなど支援が滞ってしまうケースが多くあったことが考えられます。しかし、その中でも手紙やメールなどのツールを活用し工夫を凝らしながら支援をおこなうことで、これまで自宅の片付けに手をつけられていなかった方が清掃に取り組むことができたり、受診拒否の方が受診をすることができたりと、支援成果が出ています。

〔 課 題 〕

支援において、対象者が制度を利用するようになることや、関係機関につながることで課題の解決とは言えず、その方が今後も「地域の一員」として安心して住み続けられることが重要と考えています。そして実際に支援の中でも、対象者にとって近隣住民の方々の関わりが効果的となったケースもありました。そのため、今後も地域住民の方々のご協力をいただけるよう、積極的に事業周知を図る他、日頃の連携、情報共有についても強化していきたいと考えています。

(1) ケースの件数

①新規選定および終結件数

	伏見本所	深草	醍醐	合計
新規選定	3	2	4	9
終結	0	1	1	2

②支援状況

	伏見本所	深草	醍醐	合計
年度当初	7 (経過観察 1 件含む)	4	5	16
年度末	9 (経過観察 1 件含む)	5 (予備調査 1 件含む)	5 (経過観察 1 件含む)	19

(2) 各種会議への出席

①選定会議

保健福祉センターを含む関係機関、区社協等から支援候補となるケースを挙げ、支援の必要性や優先度、寄り添い支援の有効性を考慮し、ケースを選定しました。

また、これまで地域あんしん支援員はひきこもり支援もおこなっていましたが、令和 2 年 9 月に新たにひきこもり支援事業が開始されたことにより、ひきこもり事象のある世帯についてはひきこもり支援調整会議にて検討されることとなりました。そのため、本事業の選定会議では選定されなかった事例がありました。

伏見本所	令和 2 年 9 月 8 日 (候補 4 ケースのうち、2 ケース選定) 令和 2 年 10 月 8 日 (候補 1 ケースのうち、1 ケース選定)
深草	令和 2 年 7 月 21 日 (候補 2 ケースのうち、1 ケース選定) 令和 2 年 11 月 30 日 (候補 3 ケースのうち、0 ケース選定) 令和 2 年 12 月 23 日 (候補 3 ケースのうち、0 ケース選定) 令和 3 年 3 月 2 日 (候補 1 ケースのうち、1 ケース選定)
醍醐	令和 2 年 7 月 17 日 (候補 4 ケースのうち、2 ケース選定) 令和 2 年 9 月 1 日 (候補 2 ケースのうち、2 ケース選定) 令和 2 年 10 月 29 日 (候補 1 ケースのうち、0 ケース選定)

② 支援会議

支援ケースについて、解決すべき課題の確認、関係機関の役割分担の明確化、支援方針の決定を目的に、支援会議をおこないました。

伏見本所	令和 2 年 10 月 8 日 (支援方針の決定、対象外の検討 1 ケース) 令和 2 年 11 月 2 日 (支援方針の決定 1 ケース) 令和 2 年 12 月 15 日 (支援方針の見直し 1 ケース、支援方針の決定 1 ケース) 令和 3 年 1 月 22 日 (支援方針の見直し 1 ケース、終結の検討 1 ケース) 令和 3 年 3 月 16 日 (支援方針の決定 1 ケース)
------	---

深草	令和2年11月30日(支援方針の決定1ケース、終結の検討1ケース) 令和3年1月13日(支援方針の見直し1ケース)
醍醐	令和2年9月25日(支援方針の決定3ケース、経過観察の検討1ケース) 令和3年1月18日(終結の検討1ケース、対象外の検討1ケース)

③定期支援会議

全ケースについて支援の進捗状況を確認し、支援が膠着しているケースについては、支援方針の見直し、終結、経過観察の判断をおこないました。

伏見本所	令和2年9月8日(支援ケースの進捗確認、支援方針の見直し、経過観察の確認) 令和3年3月16日(支援ケースの進捗確認、支援方針の見直し、経過観察の確認)
深草	令和2年7月21日(支援ケースの進捗確認、支援方針の見直し、終結の検討) 令和3年3月3日(支援ケースの進捗確認、支援方針の見直し)
醍醐	令和2年7月17日(支援ケースの進捗確認、支援方針の見直し)

(3) 支援ケースの概要

	対象者	世帯	課題	支援期間	終結の有無
伏見本所	30代女性	2人世帯 (母)	不衛生な生活環境 引きこもり その他(新しい生活環境の安定)	3年7ヶ月	継続
	50代男性	単身	不衛生な生活環境	3年7ヶ月	経過観察
	30代女性	4人世帯 (両親、弟)	不衛生な生活環境 就労 引きこもり	3年7ヶ月 (世帯間で 対象者変更)	継続
	50代女性	3人世帯 (母、弟)	引きこもり 受診拒否	2年8ヶ月	継続
	70代男性	単身	不衛生な生活環境 利用拒否 孤立	1年8ヶ月	継続
	30代男性	2人世帯 (父)	就労 孤立	1年1ヶ月	継続

	20代男性		2人世帯 (妹)	就労 孤立 その他(金銭管理)	7ヶ月	継続	
	50代女性	単身		孤立	6ヶ月	継続	
	40代男性	単身		利用拒否 孤立 その他(金銭管理)	5ヶ月	継続	
深草	50代女性		4人世帯 (子ども3人)	不衛生な生活環境 複合多問題	3年7ヶ月	継続	
	30代男性		2人世帯 (母)	引きこもり	3年1ヶ月	継続	
	70代男性	単身		不衛生な生活環境 利用拒否	1年4ヶ月		終結
	40代男性	単身		就労支援 引きこもり	1年8ヶ月	継続	
	30代男性		2人世帯 (母)	利用拒否 引きこもり	8ヶ月	継続	
	70代男性	単身		予備調査中	1ヶ月	継続	
	40代女性	単身		引きこもり 不衛生な生活環境	6年6ヶ月	継続	
醍醐	20代女性		3人世帯 (母・弟)	利用拒否 就労	2年8ヵ月	経過観察	
	70代女性	単身		不衛生な生活環境 利用拒否 生活困窮	1年5ヶ月		終結
	10代男性		3人世帯 (母、姉)	孤立 複合多問題	1年5ヶ月	継続	
	30代男性		4人世帯 (祖母、両親)	就労 引きこもり	8ヶ月	継続	
	40代男性		3人世帯 (両親)	就労 引きこもり	6ヶ月	継続	

3. ボランティア活動支援事業

〔 成 果 〕

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、例年と比べて実施事業数は少なくなりましたが、伏見区総合防災訓練においては、日頃からの地域との関わりを災害時の活動に活かす為の取り組みを行いました。また、福祉教育では、新型コロナウイルス感染症の対策を行いながら、依頼を受けた学校へ赴き、福祉教育を実施しました。さらに、新しい試みとして誰もが認めあえる地域づくりを目指した、セクシュアルマイノリティについての研修会を地域住民向けに行いました。

〔 課 題 〕

今年度も開催方法を工夫しながら、学区社会福祉協議会やボランティアグループ等とともに、地域共生社会に向けたボランティア活動の促進を地域で取り組む必要があります。

(1) ボランティアに関する相談・コーディネート等

実施体制	兼任職員3名体制で実施
開設日	窓口・電話相談：月～金（9時00分～17時00分） ※FAX・Eメールによる対応あり
年間件数	123件
内 容	「ボランティアをしたい・してほしい」、地域活動の情報、講座情報、助成金等。これらの相談・コーディネートを実施。

(2) ボランティア活動の振興・援助

①会議室の貸出

貸出件数	172件	延べ利用人数	2,157人
------	------	--------	--------

②備品の貸出

貸出件数	211件（印刷機器 134件 その他機材 77件）
貸出物品	車イス、プロジェクター、スクリーン、コンパクトスピーカー、パソコン、印刷機、丁合機、紙折機

(3) ボランティア保険の取扱いと加入促進

ボランティア保険	213団体・2,079名	行事保険	3,628名
----------	--------------	------	--------

(4) 伏見区災害ボランティアセンターに関する基盤整備

①伏見区総合防災訓練への参加

開催日	内 容
令和2年12月13日	【場所】京都市立向島秀蓮小・中学校 【内容】災害ボランティアセンター設置運営訓練

(5) 地域における福祉教育・ボランティア学習推進事業の実施

①青少年の福祉体験事業「ユースアクション 2020」の実施

(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)

②「福祉教育」「ボランティア体験学習」の実施

開催日	内 容
令和2年9月17日	南浜小学校「視覚障害当事者による講話」 【対象】南浜小学校3年生(98名)
令和2年9月24日	神川小学校「車イス体験授業」 【対象】神川小学校4年生(110名)
令和2年10月21日	南浜小学校「車イス体験授業」 【対象】南浜小学校3年生(98名)
令和2年11月25日	砂川小学校「車イス体験授業」 【対象】砂川小学校4年生(55名)
令和2年12月11日	稲荷小学校「車イス体験授業」 【対象】稲荷小学校4年生(17名)

③研修会 誰もが認めあえる地域づくりに向けて

開催日	内 容
令和3年2月28日	セクシュアルマイノリティについて 第1部：ヒューマンライブラリー～性の多様性を知る～ 第2部：講義～地域の取り組みを知る～

(6) ボランティア活動に関する講座等の充実

①ボランティア講座

開催日	内 容
令和2年11月25日	砂川小学校「認知症サポーター養成講座」 【対象】砂川小学校4年生(55名) 【共催】深草北部地域包括支援センター

令和2年12月11日	稲荷小学校「認知症サポーター養成」 【対象】稲荷小学校4年生（17名） 【共催】深草北部地域包括支援センター
------------	--

(7) 伏見区ボランティアグループ連絡会との連携・協働

①運営連絡会の開催

開催日	内 容
令和2年4月21日 第1回	中止
令和2年5月19日 第2回	中止
令和2年6月16日 第3回	(1) 令和元年度 事業報告・決算並びに令和2年度 事業計画・予算について (2) 令和2年度 代表・副代表・会計の選任について
令和2年7月21日 第4回	(1) 部会のグループ分けについて (2) 令和2年度 事業計画について
令和2年9月15日 第5回	(1) 令和2年度 下半期事業について
令和2年10月15日 第6回	(1) 秋の研修交流会について (2) 新年のつどいについて (3) コロナ禍におけるボランティアグループ連絡会の活動について
令和2年11月17日 第7回	(1) 秋の研修交流会について (2) 新年のつどいについて (3) 研修の内容と開催月について (4) 福祉のまち醍醐交流会について
令和3年1月19日 第8回	(1) パネルの掲示について (2) オンライン会議ツールの研修について (3) 規約の確認について
令和3年2月16日 第9回	中止
令和3年3月16日 第10回	(1) 令和2年度 事業報告について (2) 部会について (3) 令和3年度 事業計画について

※その他、広報部会、研修部会を必要に応じて随時開催

- ②ふれあいプラザ、センターまつり等の参加
 (新型コロナウイルス感染症の影響により中止)

③懇談会、研修・交流事業

開催日	内 容
令和2年11月26日	秋の研修交流会

④伏見区ボランティアセンター情報誌「伏見のわ」への掲載

発行月	内 容
令和2年10月	第38号 ボランティアグループ連絡会活動報告 【500部発行】
令和3年2月	第39号 ボランティアグループ連絡会活動報告 【400部発行】

⑤関係団体、機関会合への参加

伏見区社会福祉協議会理事会・評議員会等【再掲】

4. 健康すこやか学級事業

〔 成 果 〕

新型コロナウイルス感染症の流行が発生し、地域住民の方々にとって苦しい時期が続きましたが、工夫を凝らした感染対策のもと、複数の学区社会福祉協議会において健康すこやか学級を実施頂きました。また、本所及び深草管内、醍醐分室管内と開催場所を分けながら健康すこやか学級活動交流会を開催し、6日間で延べ71名の方にご参加いただきました。その交流会において各学区社会福祉協議会の実践や成果及び日頃の悩みや問題意識、やりがいや楽しさ等、情報交換・共有を行うことができました。

〔 課 題 〕

引き続き感染対策を行う必要があるため、感染対策の物品提供や開催に関する学区社会福祉協議会の役員の方々の相談に対し真摯に応じていく必要があります。また、担い手不足の課題や活動の充実に向けての取り組みも側面的な支援が必要です。具体的には、各学区社会福祉協議会の健康すこやか学級に参加し参加者や担い手の方々とのお話しから情報を集める、健康すこやか学級活動交流会等を通して普段の活動で実践できるプログラムや情報の提供・交換を行うなどの働きかけを行うことが考えられます。

(1) 健康すこやか学級事業の実施回数

実施学区社会福祉協議会		令和2年度	令和元年度
深草	稲荷学区社会福祉協議会	0	20
	砂川学区社会福祉協議会	7	20
	深草学区社会福祉協議会	42	45
	藤森学区社会福祉協議会	28	60
	藤城学区社会福祉協議会	13	52
伏見	住吉学区社会福祉協議会	29	41
	板橋学区社会福祉協議会	23	43
	南浜学区社会福祉協議会	7	38
	桃山学区社会福祉協議会	13	44
	桃山東学区社会福祉協議会	0	20
	桃山南学区社会福祉協議会	0	32
	下鳥羽社会福祉協議会	26	42
	横大路学区社会福祉協議会	0	28
	納所社会福祉協議会	18	15
向島学区社会福祉協議会	2	14	

実施学区社会福祉協議会		令和2年度	令和元年度
	向島南学区社会福祉協議会	12	16
	二の丸北学区社会福祉協議会	4	11
	二ノ丸学区社会福祉協議会	3	12
	藤ノ木学区社会福祉協議会	0	10
	久我地区社会福祉協議会	24	46
	羽束師地区社会福祉協議会	0	18
	淀学区社会福祉協議会	9	34
	淀南学区社会福祉協議会	34	60
醍醐	北醍醐学区社会福祉協議会	29	49
	醍醐西学区社会福祉協議会	10	29
	醍醐学区社会福祉協議会	8	43
	池田学区社会福祉協議会	13	29
	池田東学区社会福祉協議会	3	25
	小栗栖学区社会福祉協議会	0	10
	小栗栖宮山学区社会福祉協議会	17	22
	日野学区社会福祉協議会	24	57
	春日野学区社会福祉協議会	14	22
合計		412	1,007

(2) 健康すこやか学級活動交流会の開催

開催日	場所	内容
令和2年 9月4日	伏見社会福祉総合センター	情報交換会
令和2年 9月18日	伏見社会福祉総合センター	情報交換会
令和2年 10月 1日	醍醐支所 講堂	情報交換会
令和2年 11月4日	伏見社会福祉総合センター	クラフト講習会
令和2年 11月6日	伏見社会福祉総合センター	クラフト講習会
令和2年 11月10日	醍醐支所 講堂	クラフト講習会

5. 地域支援事業

〔 成 果 〕

新型コロナウイルス感染症の拡大によりこれまでの地域活動の推進が困難な状況ではありましたが、各学区社会福祉協議会において可能な範囲内で「地域の絆づくり事業」や「福祉のまちづくり事業」を実施していただきました。

〔 課 題 〕

学区ごとの地域懇談会などを積極的に開催し、学区社会福祉協議会の新たな取り組みや懇談会でお聞きした困りごとなどを側面的に支援していくことが必要です。

また、「福祉のまちづくり事業」の助成要綱の改訂を行うことが決定したため、必要に応じて説明を行い、理解をいただく必要があります。

(1) 学区社会福祉協議会会長会議の開催

開催日	内 容
令和2年6月24日	学区社会福祉協議会活動の再開に向けた意見交換
令和3年3月25日	学区社会福祉協議会 助成要綱の改訂について

(2) 福祉のまちづくり事業の推進

事 業 項 目		実施学区	
学びあう活動	研修活動	研修活動	25
		ボランティア講座の開催	16
	広報啓発活動	広報紙の発行	30
		福祉まつりなどの啓発活動	19
		福祉の相談会の開催	11
	実態調査活動	まちづくり点検活動	7
		暮らしの実態調査	9
福祉台帳の整備		18	
ふれあう活動	交流活動	地域行事への参加促進	27
		世代間等の交流活動	22
		福祉施設との交流	17
	仲間づくり活動	茶話会・会食会活動	22
		当事者グループづくり	7
		当事者への支援活動	6
		地域子育て支援活動	22

支えあう活動	学区ボランティアセンター活動	外出サービス活動	6
		家事援助サービス活動	5
	地域福祉ネットワーク活動	訪問ネットワーク活動	18
		福祉施設との連絡会	23
		関係機関・施設連絡協議会	19
	在宅福祉サービス活動	寝具クリーニングサービス	19
		配食サービス	11
		健康すこやか学級	31
		居場所づくり	22

(3) 学区社会福祉協議会への助成

① 基本助成	2,239,000 円	② 活動助成	5,102,000 円
③ 賛助会費配分	7,273,175 円	合計	14,614,175 円

(4) 未設立学区への支援活動

学区	内容
竹 田	地域ケア会議に参画し、顔の見える関係の構築を図っている。
久我の杜	地域ケア会議に参画し、情報収集を行った。
石 田	民生児童委員協議会との協働を綿密に図っている。

6. 生活支援事業

1) 生活支援事業

〔 成 果 〕

様々な理由で生活に困窮されている方や地域で孤立されている方に対して、各関係機関や福祉事業者、地域団体とのネットワークを活用して支援をおこないました。

〔 課 題 〕

生活支援を必要としている方のニーズは複雑多様化しており、対応するにはより強固なネットワークの構築が不可欠です。今後起こり得る事態に対処する為にも、様々な機会を活用して連携を深め、生活支援活動の充実を目指す必要があります。

(1) チャレンジ就労体験事業の推進<市社協連携>

種別	受け入れ施設
障 害	福祉工房 P&P 愛隣デイサービスセンター 京都市ふしみ学園 京都市だいが学園 京都フレンドリーハウス醍醐作業所 モーツアルト七瀬川つつみ 京都市伏見障害者授産所 就労継続支援事業所 キャッチアップ
高 齢	伏見老人デイサービスセンター 醍醐老人デイサービスセンター 伏見老人福祉センター 醍醐老人福祉センター デイサービスセンターみやびのその 特別養護老人ホーム フジの園 特別養護老人ホーム みやびのその 特別養護老人ホーム 同和園 ケアハウス プラスしこうえん 高齢者福祉施設 久我の杜
児 童	春日野児童館 藤森竹田児童館 醍醐中央児童館 辰巳児童館
その他	京都生活協同組合 京都生活協同組合 コープ桃山店 京都生活協同組合 コープ醍醐石田店 醍醐中央図書館

	深草	本所	醍醐
利用者数	2	32	8

(2) 企業との連携による見守り活動<市社協連携>

対応日	内容
令和2年4月 8日	京都生協からの通報 在宅確認出来なかったが、地域に繋いで対応完了
令和2年4月10日	京都生協からの通報 在宅を確認し、対応完了
令和2年6月12日	京都生協からの通報 入院中であることを確認し、対応完了
令和2年10月 1日	京都生協からの通報 在宅を確認し、対応完了
令和2年11月 4日	京都生協からの通報 自宅で亡くなられていたのを発見した
令和2年12月 8日	京都生協からの通報 在宅を確認し、対応完了
令和2年12月17日	京都生協からの通報 入院中であることを確認し、対応完了

(3) 認知症の方の居場所づくり「オレンジカフェ伏見」の開催

	開催日	参加人数 (当事者とその家族)	ボランティア人数
第1回	9月29日	7	2
第2回	10月27日	6	2
概要			
日程：毎月第4火曜日 時間：13:30～14:30 内容：喫茶、歓談、体操、レクリエーション等 費用：100円 対象：認知症の人とそのご家族 協力：認知症の人と家族の会伏見支部およびボランティア			

(4) 伏見地域支え合い活動創出コーディネーターと連携した「京都市地域支え合い活動創出事業（京都市事業）」の推進

①生活支援サービス創出の企画・支援

地域支え合い活動調整会議（連絡会議）の運営	
<p>説明 地域住民、関係機関、福祉事業所、専門職集団、医療機関、区役所担当部局の代表にご参加いただき、地域支え合い活動創出コーディネーターの事業を説明・報告する会議です。ここで出された意見を参考に、事業の運営、生活課題の選定を行います。</p>	
深草	<p>第1回：令和2年6月30日（火）*コロナウイルス感染防止の為、書面開催 第2回：令和2年11月19日（木） 第3回：令和3年3月30日（火）*コロナウイルス感染防止の為、書面開催</p>
本所	<p>第1回：令和2年6月30日（火）*コロナウイルス感染防止の為、書面開催 第2回：令和2年11月12日（木） 第3回：令和3年3月30日（火）*コロナウイルス感染防止の為、書面開催</p>
醍醐	<p>第1回：令和2年7月3日（金） 第2回：令和3年3月9日（火）*参集とオンラインの併用</p>

②地域支え合い活動調整会議（実務者会議）の運営

<p>説明 連絡会議や地域ケア会議等が出た意見を基に、区・支所ごとに「生活課題」を選定し、具体的な解決に取り組みます。</p>	
深草	<p>課題：地域に高齢者の買い物ができる場所がない。 取組①：通所介護施設が所有している送迎車を活用し、スーパーまでの移動支援を検討した。送迎時のシミュレーションを行い、課題や改善点などを確認したが、コロナウイルス感染防止のため、実務者会議を1回しか開催出来ず（地域住民・支所担当部局・深草北部包括・ヴィラ稲荷山との連携） 取組②：築40年ほどのマンション群における上層階の住民向けにゴミ出し支援の検討を行った。（深草北部包括支援センターとの連携）</p>
本所	<p>取組①：障がいを抱える高齢者ができることを活かせる場所の提供やそのできないことをできない方に提供できるように出合いの場を設定した。一定のルール作りが必要となったため、マニュアルを作成。 取組②：高齢者の生活支援サービス【通所型】が不足している地域に関係機関と地域住民でが取り組み新しい居場所を密を避け、つながりを継続する取り組み変更。</p>

醍醐	<p>課題①：生活支援サービスを提供する団体同士がつながる機会がなくコロナ禍による実践の情報が偏りがちになっている。</p> <p>課題②：地域における公益的な取り組みの一環で施設の一部を開放しているが、有効に活用されていない。</p> <p>取組①：生活支援サービス（訪問型）の情報交換会を開催でき訪問型団体同志の横の繋がりづくりのきっかけを提供することができた。</p> <p>取組②：「醍醐ふれあい・支え合いマップ」を作製し、高齢分野における地域資源について可視化することができた。</p>
----	--

③生活支援の担い手養成

各区共通 地域支え合い活動入門講座	
深草	<p>第1回：令和2年8月22日(土)</p> <p>第2回：令和3年3月20日(土)*コロナウイルス拡大防止のため中止</p>
本所	<p>第1回：令和2年10月16日(木)</p> <p>第2回：令和3年1月29日(金) *緊急事態宣言発出の為中止</p> <p>第3回：令和3年3月4日(木)*コロナウイルス拡大防止のため中止</p> <p>第4回：令和3年3月24日(水)</p>
醍醐	<p>第1回：令和2年10月29日(木)</p> <p>第2回：令和3年3月13日(土)</p>

区独自 地域支え合い活動入門講座「フォローアップ研修」
今年度は合計3回のフォローアップ研修を予定していたが、コロナウイルス感染拡大の為、全3回とも中止。

④関係者のネットワーク化

1) 情報交換会の開催

伏見区地域支え合い活動の推進に関する高齢分野等の情報交換会の開催
<p>第1回（本所管内）</p> <p>日時 令和2年9月4日（金） 13:30~15:00</p> <p>場所 伏見社会福祉総合センター 1階 食堂</p> <p>内容 「基本的な手洗い・消毒・環境整備について」及び「コロナ禍での取り組みや気になった取り組みについて」</p> <p><参加団体>学区社会福祉協議会すこやか学級担当者 19名</p>

<p>第2回（本所管内）</p> <p>日時 令和2年9月18日（金） 10:00~11:40</p> <p>場所 伏見社会福祉総合センター 2階 集会室及びオンライン</p> <p>内容 「基本的な手洗い・消毒・環境整備について」及び「コロナ禍での取り組みや気になった取り組みについて」</p> <p><参加団体>学区社会福祉協議会すこやか学級担当者 14名</p>
<p>第3回（醍醐支所管内）</p> <p>日時 令和2年10月1日（木） 10:30~12:00</p> <p>場所 伏見消防署講堂及びオンライン</p> <p>内容 「基本的な手洗い・消毒・環境整備について」及び「コロナ禍での取り組みや気になった取り組みについて」</p> <p><参加団体>学区社会福祉協議会すこやか学級担当者 13名</p>
<p>第4回（深草支所管内）</p> <p>日時 令和2年9月18日（金） 18:15~19:55</p> <p>場所 伏見区役所深草支所 4階会議室</p> <p>内容 各サロンの紹介と手洗いや消毒の効果的な実施方法について</p> <p><参加団体>生活支援サービス【通所型】提供団体 12名</p>
<p>第5回（本所管内）</p> <p>日時 令和2年12月11日（金）</p> <p>場所 書面開催</p> <p>内容 「コロナ禍における活動状況と活動再開時の気を付けている点について」</p> <p><参加団体>生活支援サービス【通所型】提供団体 42団体</p>
<p>第6回（深草支所管内）</p> <p>日時 令和2年12月23日（水） 15:00~16:30</p> <p>場所 ふかふか家</p> <p>内容 「スマホとオンライン会議について」</p> <p><参加団体>高齢分野、障がい分野、まちづくり分野、子育て分野等 6名</p>
<p>第7回（深草支所）</p> <p>日時 令和3年3月24日（水） 14:00~15:30</p> <p>場所 京エコロジーセンター シアター室</p> <p>内容 サロン開催時の体調不良者への初期対応と各サロンのご紹介</p> <p><参加団体>生活支援サービス【通所型】提供団体 9名</p>
<p>第8回（伏見区全体）</p> <p>日時 令和3年3月30日（火）</p> <p>場所 動画を撮影し、DVD配布を行った。</p> <p>内容 活動団体紹介</p> <p><参加団体>生活支援サービス【訪問型】提供団体及び入門講座修了生</p>

区独自 地域支え合い活動創出事業 地域共生社会を見据えたネットワーク	
第1回	日時 令和2年7月22日(水) 15:00~16:15 場所 ふかふか家 参加者 高齢分野、障害分野、子育て分野等世代分野を越えた団体11名
第2回	日時 令和2年8月19日(水) 15:00~16:15 場所 ふかふか家 参加者 高齢分野、障害分野、子育て分野等世代分野を越えた団体13名
第3回	日時 令和2年9月16日(水) 15:00~16:30 場所 ふかふか家 参加者 高齢分野、障害分野、子育て分野等世代分野を越えた団体10名
第4回	日時 令和2年10月21日(水) 15:00~17:00 場所 ふかふか家 参加者 高齢分野、障害分野、子育て分野等世代分野を越えた団体12名
第5回	日時 令和2年11月18日(水) 15:00~16:10 場所 ふかふか家 参加者 高齢分野、障害分野、子育て分野等世代分野を越えた団体8名
第6回	日時 令和3年1月20日(水) 15:00~16:40 場所 ふかふか家及びオンライン 参加者 高齢分野、障害分野、子育て分野等世代分野を越えた団体11名
第7回	日時 令和3年2月18日(水) 15:00~16:30 場所 ふかふか家及びオンライン 参加者 高齢分野、障害分野、子育て分野等世代分野を越えた団体11名
第8回	日時 令和3年3月4日(水) 15:10~16:20 場所 ふかふか家 参加者 高齢分野、障害分野、子育て分野等世代分野を越えた団体11名 * 来年度の取り組みに向けて、ふかくしゃべり場のネットワークの強みを生かし 高齢分野を中心とした目に見える生活支援サービスを検討する場を設けた

⑤地域のニーズと資源の見える化

- 1) 地域アセスメント基礎情報シートの更新
- 2) 健康すこやか学級研修会において再開状況のヒアリング
- 3) 居場所運営団体に向けて居場所再開時の支援情報提供
- 4) 関係機関と連携し事例集やつながりあえるリーフレット、ベンチマップを作成
 - ・コロナ禍でも取り組める 243Ebasyo（ふしみの居場所）事例集作成

<連携先> 伏見区本所地域包括支援センター保健師看護師等専門職部会
伏見地域介護予防推進センター

 - ・つながりあえるリーフレット作成

<連携先> 伏見区本所地域包括支援センター保健師看護師等専門職部会
伏見地域介護予防推進センター

 - ・サロンベンチマップ

<連携先> とまり木休憩所実行委員会
深草・竹やすらぎの会

⑥その他の取り組み

- 1) 地域の居場所やサロンでの研修の開催や情報提供
- 3) 中学校跡地を活用して誰もが集える交流スペースを開設
- 4) 淀地域の拠点を活用した高齢者の活躍の場の提供の検討
- 5) 京都生協との情報交換会を開催（2回）

2) 地域福祉ネットワーク事業

〔 成 果 〕

コロナ禍の中ではありましたが、伏見区地域福祉推進委員会を軸として、「地域支え合い活動創出コーディネーター」等と連携し、地域福祉の推進に関する活動を行いました。また、福祉分野別のネットワークをはじめ、保健、医療、教育等の幅広い分野の連絡会議等に参加し、様々な課題の解決に向けた取り組みを推進しました。また、「地域あんしん支援員」と協力し、制度の狭間にある方や支援を拒否する方など、既存の制度の枠組みでは対応の困難な個別ケースの支援にも継続して取り組みました。

〔 課 題 〕

複合的な福祉課題や制度の狭間にある生活課題に対応するために、インフォーマルなサービスを含めた多様な機関や団体の取り組みを把握し、連携を進める必要があります。その為に、伏見区地域福祉推進委員会等の取り組みを通じて、互いに協働できるきめ細かなネットワークを構築することが必要です。

(1) 伏見区地域福祉推進委員会

① 委員会の開催

第1回 伏見区地域福祉推進委員会	
開催日	令和2年8月6日(木)
内容	(1) 令和元(平成31)年度 事業報告・決算報告について (2) 令和2年度 事業計画(案)・予算(案)について (3) 第4期 伏見区地域福祉活動計画について (4) その他
備考	書面審議

第2回 伏見区地域福祉推進委員会	
開催日	令和3年3月30日(火) 午後2時から
内容	(1) 令和3年度 事業計画(案)・予算(案)について (2) 第4期 伏見区地域福祉活動計画について
会場	伏見区役所1階 ホール

② 地域福祉推進シンポジウム・講演会の開催

開催日	令和2年11月13日(金)
事業名	令和2年度 伏見区地域福祉推進シンポジウム
内容等	テーマ 幸せを分かち合おう！ 共に生きる「福祉のまち伏見」の実現に向けて 事例発表 ・居場所づくり活動を活用した担い手育成 茶房 やどり木(春日野学区) ・見守り活動を組織化し情報共有ならびに支援 横大路地域福祉推進委員会(横大路学区) ・商店街内のコミュニティスペースを活用した連携支援 暮らしの交流サロン ふかふか家(深草学区) 総括・まとめ 杉本 星子 教授(京都文教大学 総合社会学部 総合社会学科)
会場	京都ホテルオークラ 4階 暁雲の間
参加者	学区社協役員、民生児童委員、関係機関 他90人
開催日	令和3年3月6日(土)
事業名	「福祉のまち醍醐・交流大会」

内容等	「コロナ禍においても暮らしに笑いを」 ～笑って免疫力向上，みんな元気に～ ・大村崑さん講演会「いくつになっても 元気ハツラツ！！」 ・笑いで免疫アップ！バラエティショー ・ふれあい作品展（2F ロビー） ・子育て支援に関するパネル等の展示（3F 通路） ・健康づくり・介護相談に関するパネル等の展示（1F 通路） ・メッセージボード「こころ 集めて 醍醐の花見」の展示（2F ロビー中央）
会 場	京都市醍醐交流会館
参加者	住民、地域組織の役員、関係機関など 100 人

③伏見・深草・醍醐「ふれあいプラザ」への参加

名 称	日 程
伏見ふれあいプラザ2020	コロナ禍により開催中止
醍醐ふれあいプラザ	コロナ禍により開催中止
深草ふれあいプラザ	コロナ禍により開催中止

(2) 地域福祉ネットワークの推進

①関係団体・施設の連絡会議等への参加・連携

- 1) 伏見・深草・醍醐地域包括支援センター運営協議会および運営会議への参画
- 2) 地域包括支援センターとの連携および地域ケア会議への参加
- 3) 伏見地域、深草・醍醐地域介護予防推進センターとの連携強化
- 4) 伏見・深草子どもネットワークおよび醍醐子育て支援ネットワークへの参加
- 5) 伏見保健所運営協議会への参画
- 6) 伏見区こころの健康ふれあいネットワークへの参画
- 7) 障がい者地域生活支援ネットワーク事務局の共同運営
- 8) 伏見区内の各種会議、協議会への参加

②京都市南部・東部障害者地域自立支援協議会への参画

- 1) 運営会議・全体会議への参加
- 2) 地域懇談会の開催（伏見区地域福祉推進委員会伏見ブロック部会共催）
- 3) 災害対策部会の開催
- 4) 事務局会議等の開催

(3) 地域福祉ネットワークへの助成

実施なし

7. 共同募金配分金事業

〔 成 果 〕

関係団体やボランティアグループへの助成金の使途や事業の効果等を検証し、コロナ禍における活動継続の為に必要な支援を行う事ができました。

〔 課 題 〕

赤い羽根共同募金の意義を伝え、募金額の減少に歯止めをかける為に、引き続き共同募金配分金を財源とする事業であることを周知する等、啓発活動を充実することが必要です。

(1) 学区社会福祉協議会への助成

①広報・啓発活動	330,000 円
②交流活動・仲間づくり活動	2,000,000 円
③寝具クリーニングサービス	1,000,000 円

(2) 地域福祉・ボランティア活動助成事業 818,000 円

山科少年補導委員会（醍醐地区）	伏見区交通安全推進委員会連合会	伏見区老人クラブ連合会
伏見区身体障害者団体連合会	伏見区母子寡婦福祉会	京都手をつなぐ育成会伏見支部
伏見区遺族連合会	伏見少年補導委員会	伏見地区保護司会
伏見保育士会	醍醐保育士会	伏見区地域女性連合会
伏見更生保護女性会		
花水木の会	ねこの手	ぶどうの会
醍醐朗読ボランティアの会 ひびき	手話サークル ともだち	京都 YMCA こおろぎ
要約筆記サークル かたつむり		

社会福祉法人 京都市伏見区社会福祉協議会

〒612-8318

京都市伏見区紙子屋町 544 番地

京都市伏見社会福祉総合センター2F

T E L 075 (603) 1287

075 (604) 6541〔相談専用〕

F A X 075 (603) 4532

醍醐分室

〒601-1375

京都市伏見区醍醐高畑町 30-1

京都市醍醐老人福祉センター内

T E L 075 (575) 2070

F A X 075 (573) 8314